

1
750°Cまでの
高温NH3ガスが測定可能



2
他ガス種と同様に
サンプリング不要
2秒以内の応答速度を実現

3
低濃度～高濃度まで
幅広く測定可能
★混焼後の未燃分測定
→バーナー性能改善、燃焼最適化

NEO monitors社のレーザー式NH3計は、他では実現困難な測定を可能に致します。

➡ 当社オンリーワン技術

- ・750°Cまでの高温NH3ガス濃度の測定が可能
- ・高ダスト環境下、レーザー透過率が10%付近まで低下しても測定値に影響無し
- ・他ガスの干渉を受けず、正確な濃度測定が可能 (※)
- ・低濃度測定専用モデルではppbオーダーの濃度測定可能

(※) 干渉の事前チェックも可能ですので、詳細は別途お問合せください。



NH3混焼におけるNEO社レーザー式NH3計の優位性



	レーザー式NH3分析計	
モデル	LaserGas Ver.III SP	LaserGas Ver.II MP (低濃度専用)
測定レンジ例	0-100%/0-50ppm	0-1000ppb
最大温度	750℃	55℃
検出下限値	600℃以下 : 0.15ppm 600℃以上 : 3ppm	30ppb
特長	配管への直付が可能 サンプリング不要	低濃度測定専用モデル ガスをサンプリングの上、測定

※上記検出下限値は、測定距離：1m、温度：25℃、圧力：1bar・aの場合の数値となります。（LaserGas Ver.II SPの場合の参考例となります）

測定条件に応じて検出下限値は変動致しますので、詳細はお問い合わせください。